

会 議 録

議事録名		部長	課長	企画幹	係長	係	記録			
佐久市保健福祉審議会										
日 時	令和4年8月2日	場 所	南棟3階会議室		時 間	15時～16時30分				
出席者	○委員 堀内ふき会長、小平實副会長、山田啓顕委員、堤雅史委員、土屋俊英委員、今村健之委員、銭谷清子委員、竹内正明委員、小林光男委員、関本美津子委員、岩下幸子委員、山田美登里委員、草間信子委員、土屋浪子委員、廣田典昭委員、鷹野禮子委員、吉岡由美委員、桜井美智子委員 ○事務局 市長、福祉部長、市民健康部長、福祉課長、子育て支援課長、高齢者福祉課企画幹、健康づくり推進課長、担当係長5名、担当係員1名				出席委員	18名	欠席委員	6名	事務局	13名
提出資料	資料1-1 第四次佐久市地域福祉計画（骨子案） 資料1-2 第三次佐久市地域福祉計画・地域福祉活動計画（各取組の検証） 資料1-3 第四次佐久市地域福祉計画に関する市民アンケート報告書＜速報＞ 資料1-4 第四次佐久市地域福祉計画の策定スケジュール 資料1-5 第四次佐久市地域福祉計画（骨子案）に係る意見書様式 資料2-1 第二次佐久市自殺対策総合計画の策定スケジュール 資料2-2 第二次佐久市自殺対策総合計画（骨子案） 資料2-3 令和4年度佐久市こころの健康に関する市民意識調査報告書＜速報＞ 資料2-4 自殺の統計（地域における自殺の基礎資料） 資料2-5 第二次佐久市自殺対策総合計画（骨子案）に係る意見書様式									
○次第										
1 開会										
2 市長あいさつ										
3 会長・副会長選出										
4 諮問										
5 審議事項										
<ul style="list-style-type: none"> ・第四次佐久市地域福祉計画（骨子案）について ・第二次佐久市自殺対策総合計画（骨子案）について 										
6 その他										
7 閉会										

○議事録（質疑応答）

＜第四次佐久市地域福祉計画（骨子案）について＞

委員 人口減少が進み、高齢化率が高まっている。また、佐久市では、エリアによって人口集中が起こっている。このような時代背景、地域背景を踏まえて計画策定を進めてほしい。

委員 佐久市の出生率の状況はどうなっているか。

事務局 ここ10年の傾向を見ると、合計特殊出生率は横ばい傾向にあるものの、出生数は100人程度減少するなどなかなか歯止めがかからない状況。

委員 どのような計画においても、若い世代の声を聴き、中長期的な考え方をもって当たる必要があると思う。

委員 特徴のある大胆なまちづくりの計画は、上位計画において行えばよいと思う。地域福祉の計画では、理念にあるように「誰一人取り残すことのない」社会を目指してもらいたい。

＜第二次佐久市自殺対策総合計画（骨子案）について＞

委員 自殺に至る心の病気の原因は、うつ病だけではない。躁うつ病の方も自殺リスクが高いため、目を向けてもらいたい。

委員 SOS教育については、いじめ問題だけでなく、その背景にどんな要因があるのかも考えてほしい。

中学校における教育だけでなく、小学校でもお互いの良さを認め合える教育をしていけたらいいのではないか。

委員 心のほっとライン・佐久の開設時間は現状に合っているのか。本当に相談したいのは、夜間や休日。そういった時に相談できるものが必要ではないか。

事務局 役割分担と考えている。市の相談では、ハイリスクの方は、すぐに面談したり、医療受診に保健師が同行したりして繋ぐこともしている。国として、24時間体制の電話相談やSNS相談をしているため、市としてできる範囲で行っている。

委員 「capながの」という団体がある。有料だが、小学校で、劇やアンケートを通して安心安全で自由に生きていけるという内容の意義ある活動をしている。佐久市の教育委員会で招いて研修をしてほしい。

チャイルドラインでは「死にたい」という電話がかかってくる。つまりは、生きたいと言うこと。少子化が叫ばれる中、子どもを一人も取り残さないでほしいと思う。

(以上)